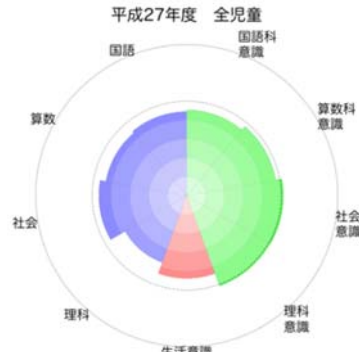
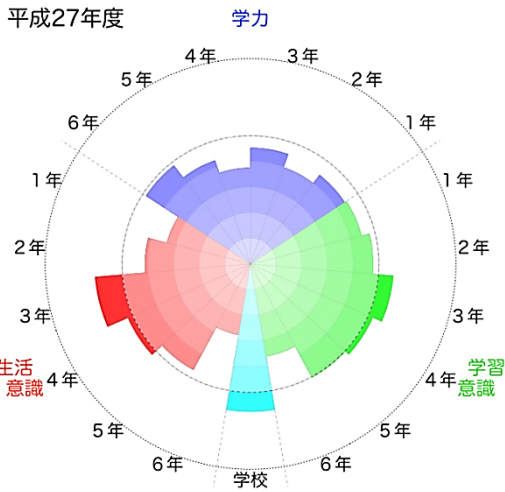


昨年度行われた《横浜市学力・学習状況調査：平成28年2月5・6日実施》と今年度6年生で実施された《全国学力・学習状況調査：平成28年4月19日実施》の結果が出ましたので、考察を交えてお知らせします。

横浜市学力・学習状況調査

※チャートの学年は昨年度の学年です。



一昨年（平成26年度）と比較してみると大きな違いは見られない。また、教科ごとの大きな差はなく、横浜市の平均に近い。しかし高学年に見られる傾向であるが、学力に比べて学習意識が相反している学年もあり、今後も意欲的に学習に取り組んでいけるよう学習内容の工夫をしていきたい。

学習意識についてはどの教科についても安定した傾向にある。国語、算数については「好きである。」と答えた児童に対して「理解できている。」と言う児童が若干少ない。引き続き「分かる授業」

を目指していきたい。

生活意識調査においては、自己意識、学校生活、校外生活の各項目においてバランスがとれているものの、他者との関わりができていく傾向も見られた。「あいさつ運動」など意図的な関わり場面を設定しながら、児童の交流を深めていきたい。

現2年生

学習に対する意欲をもち、学力に反映させている。

国語については大切な教科であると意識し取り組んでいる。「言語についての知識・理解」「読むこと」は市の平均と同様であり、特に助詞を正しく使うことや漢字の読み取りがしっかりできている。

算数の「知識・理解」の各項目では市の平均を上回るなど加法計算や資料の読み取りが定着できている児童が多かった。

現3年生

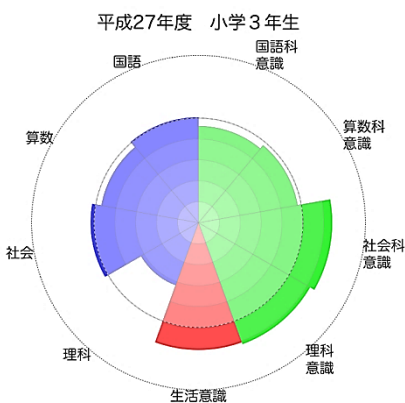
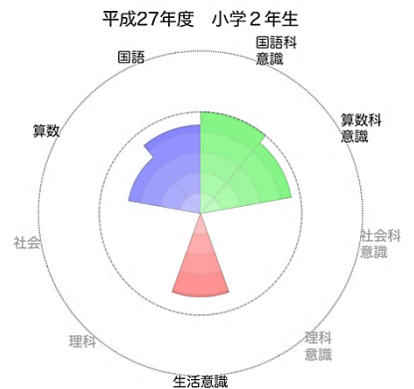
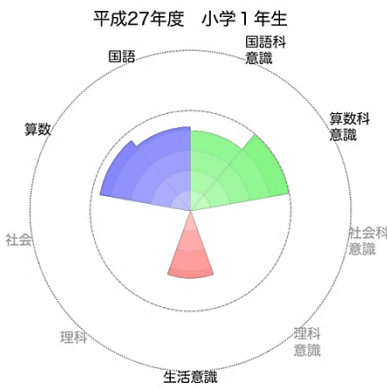
学習に対する意識が高まってきている。国語、算数共に好きであり大切な教科であると思っている児童の割合も多い。反面、学習への関心が十分学力に繋がっていない傾向にある。

国語の「読むこと」の能力については市の平均を上回っているが「大事な事から落とさず聞き、感想を述べる。」など「話す・聞く」能力が不十分であった。話し合い活動などで力をつけていきたい。

算数のグラフの読み取りや一桁のかけざんなど「技能」はしっかり定着しているが、「数学的な考え方」が不十分な児童が多かった。学習に対し意欲があり意識が高い反面、学力に十分結びついていない現状である。スキル学習等の反復練習でしっかり身につけいきたい。

現4年生

学習に対する意識を高め、着実に学力がついてきている。新しく加わった社



会、理科についても関心をもち意欲的に取り組んでいる姿が伺われる。

国語や算数はどの能力も力を発揮しており、特に算数の「技能」、コンパスによる作図では市の平均を大きく上回った。

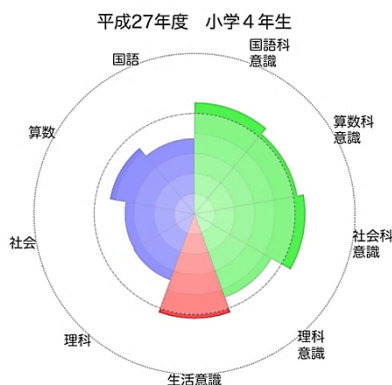
理科では虫眼鏡の使い方や豆電球のしくみなど「技能」は理解できているものの、昆虫の体のつくりや光の進み方など「知識・理解」が不十分であった。体験的な学習のまとめをしっかりと行うことで知識としての定着を図っていききたい。

現5年生

学習意識は高く、前年に引き続き市の平均を上回っている。生活意識も同様に「学校生活」や「自己意識」など前向きな姿勢で学校生活を送っている。

国語については「話すこと」への意識が高い反面、「書くこと」に対して苦手意識をもつ児童が多く見られた。算数では前年に引き続き数の領域をはじめ「数学的な考え方」が平均を上回っており、「知識・理解」が伸びている傾向が見られた。反面、「技能」の面では下降傾向である。引き続き基礎基本を重視し、反復練習等で定着をはかっていききたい。

社会、理科については平均を下回っており、学習内容の難しさを感じている児童が多かった。体験的な学習活動など実感を伴った学習内容の工夫をしながら意欲的に取り組めるようにしていきたい。

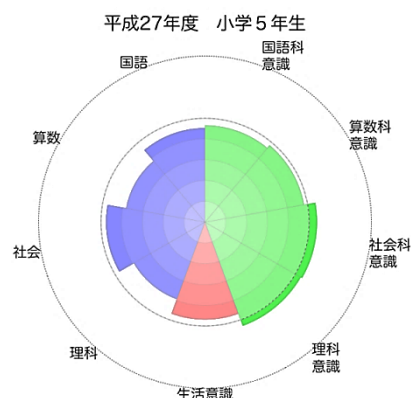


現6年生

6年生も学習に向かう意識は高く、見合った学力も付いてきている。

国語の「書く」項目や「言語の知識・理解」では、市の平均より上回っており、既習漢字を正しく書いたり、文章の中で正しく使ったりすることができている。「算数」の数学的な考え方では図形を元にして立式できるが、「技能」の面で合同な三角形が描き方にミスが見られた。

社会、理科については意欲的に学習しており、資料を使って調べたり、読み取ったりする力は身につけてきている。理科についても同様であるが、顕微鏡の操作や植物の成長に関する実験など「技能」の面で課題が見られた。



全国学力・学習状況調査の結果

調査が行われた国語、算数共に、全国、神奈川の平均と大きく差が見られなかった。

国語

〈国語 A 主として知識〉「話す・」「聞く」の観点では平均を上回るなど、力を発揮できたものの、ローマ字の読みや書き取りの誤答や無解答が多かった。

〈国語 B 主として活用〉では、平均より上回る傾向が見られた。目的に応じた読み取りがやや苦手としている児童が多かった。

算数

〈算数 A 主として知識〉では平均とほぼ変わらなかったが、単位量の求め方や小数の割り算などに誤答が見られた。

〈算数 B 主として活用〉においても全国、神奈川平均との大きな差異はなかった。グラフの読み取りや図形の構成の見方などに誤答が見られた。